

9												
施策名	行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化等の推進											
担当課	情報政策課 ※2、総務事務集中課、税務課、警察本部企画課、警察本部情報管理課											
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等											
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって、「すぐ使えて」「簡単で」「便利な」行政サービスを実現するため、従来の紙文化から脱却し、行政が提供するあらゆるサービスのデジタル化を図るに当たり、すべての事務手続をデジタルで効率的に完結させるためには、サービスのフロント部分のみならず、行政内部事務も含めてすべてデジタル化する必要がある。</li> <li>・テレワークによって情報機器を用いて外部から効率的に事務を行うためには、行政文書のペーパーレス化や電子決裁化など、内部事務のデジタル化の推進が不可欠である。</li> <li>・令和2年11月に、一人一台パソコン3,423台を、専用の無線回線で庁内ネットワークに接続可能なモバイル型に変更して、ペーパーレス会議等に利用できるようにした。</li> </ul>											
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャットツールの導入を行う。</li> <li>・モバイル化された一人一台パソコンを活用してペーパーレス会議の実施を推進する。</li> <li>・基幹システムの更新に合わせ、財務会計システムに電子決裁機能を追加する（稼働は令和4年1月）など、行政文書の電子決裁を推進する。</li> <li>・課税の基礎や根拠を同一とするものについて、他団体との情報共有・連携方法のデジタル化・ペーパーレス化を推進するとともに、提供されたデジタル情報をシームレスに自動処理できる機能を税務システムに追加することにより、県税賦課徴収事務の迅速化、適正化を推進する。</li> <li>・基幹システムの更新に合わせ、文書管理システムに電子決裁機能を追加する（稼働は令和3年4月）。（警察本部）</li> </ul>											
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">当初 (H30 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">現状 (R2 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>				指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化	推進	推進	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)									
行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化	推進	推進	推進									
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">R1 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R2 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化の推進</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 40%; height: 40px; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">一人一台パソコンのモバイル化</div> </div> </td> </tr> </tbody> </table>				R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化の推進</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 40%; height: 40px; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">一人一台パソコンのモバイル化</div> </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度										
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">行政文書等のペーパーレス化、電子決裁化の推進</div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 40%; height: 40px; margin: 10px auto;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">一人一台パソコンのモバイル化</div> </div>												

10																	
施策名	A I 等を活用した業務効率化の推進																
担当課	情報政策課 ※2																
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等																
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民サービスの向上を図るためには、職員が能力を十分に発揮することが重要であり、そのためには長時間勤務が是正され、仕事と家庭の調和や心身の健康が図られる必要があることから、A I 等の活用によって業務の自動化・効率化を推進し、働きやすい職場環境を整備することが求められている。</li> <li>・A I を活用した会議録作成支援システムについて、平成 30 年 7 月に知事定例記者会見等の用途に一部導入し、さらに令和元年 8 月には全庁での利用に拡大することで、会議録等の作成に係る業務を効率化している。</li> <li>・R P A（ソフトウェアロボットによる定型的なパソコン操作の自動化）及びA I－O C R（A I を活用して手書き文字等をテキストデータに変換する技術）を令和元年 10 月に導入し、庁内の定型業務の自動化・効率化を推進している。</li> </ul>																
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録作成支援システムの活用を推進し、会議録等の作成に係る職員の作業時間を短縮化する。</li> <li>・R P A 及びA I－O C R を活用する業務を拡大し、庁内の定型業務を自動化、効率化することで、職員の作業時間を短縮化する。</li> </ul>																
K P I	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H29 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議録作成支援システムを利用した会議の件数</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">延べ 1000 件 (1 月末時点)</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> <tr> <td>R P A の導入件数</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">11 件(同上)</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> <tr> <td>A I－O C R の導入件数</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">22 件(同上)</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	会議録作成支援システムを利用した会議の件数	0 件	延べ 1000 件 (1 月末時点)	拡大	R P A の導入件数	0 件	11 件(同上)	拡大	A I－O C R の導入件数	0 件	22 件(同上)	拡大
指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)														
会議録作成支援システムを利用した会議の件数	0 件	延べ 1000 件 (1 月末時点)	拡大														
R P A の導入件数	0 件	11 件(同上)	拡大														
A I－O C R の導入件数	0 件	22 件(同上)	拡大														
工程表	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">会議録作成支援システムの活用推進</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">R P A の活用推進</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">A I－O C R の活用推進</td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度	会議録作成支援システムの活用推進			R P A の活用推進			A I－O C R の活用推進						
R1 年度	R2 年度	R3 年度															
会議録作成支援システムの活用推進																	
R P A の活用推進																	
A I－O C R の活用推進																	

11											
施策名	情報システムの最適化の推進										
担当課	情報政策課 ※2										
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、情報システムの調達ルールを明確化した情報システム調達指針を策定するとともに、情報システム調達審査委員会を設置し、情報システムの予算要求前及び調達開始前に事前審査を実施している。その結果、令和2年度当初予算の情報システム全体の運用経費は、平成16年度と比べて年間約35.6%（金額にして約13億円）削減した。</li> <li>・県民サービスの向上、行政事務の効率化、情報セキュリティ対策など、時代の要請に対応するため、今後も情報システムの拡充が見込まれており、経費節減のための継続的な取組が必要である。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、調達改革を中心に情報システム最適化に取り組み、より効率的なシステム調達を図る。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">効率的なシステム調達</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	効率的なシステム調達	推進	推進	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
効率的なシステム調達	推進	推進	推進								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px; text-align: center;">                     情報システム調達審査委員会による審査                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px; text-align: center;">                     情報システム調達審査委員会による審査                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px; text-align: center;">                     情報システム調達審査委員会による審査                 </div>											

12										
施策名	情報セキュリティの確保									
担当課	情報政策課 ※2									
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等									
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「香川県情報セキュリティポリシー」(平成 15 年 3 月策定)に基づき、県が保有する情報資産を様々な脅威から防御するために物理的、技術的、人的な各種セキュリティ対策を実施している。さらに、平成 27 年に発生した日本年金機構の個人情報流出事案を受け、庁内ネットワークをインターネットから分離するとともに、県及び県内全市町が共同で「自治体情報セキュリティクラウド」を導入し、高度なセキュリティ対策を実施している。</li> <li>・ I C T の進展に伴い、日々、高度化・巧妙化しているサイバー攻撃等に対し、今後も引き続き、適宜適切なセキュリティ対策を講じる必要がある。</li> <li>・自治体情報セキュリティクラウドについては、運用期間が令和 3 年度末までとなり、令和 3 年度中に次期システムを整備し移行する必要がある。</li> </ul>									
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内の情報システム等における物理的、技術的、人的なセキュリティ対策について、逐次、監査や自己点検によるチェックを行うとともに、適宜、必要な追加対策を講じる。</li> <li>・自治体情報セキュリティクラウドについて、県内全市町とともに、令和 3 年度中に、次期システムを整備し移行する。</li> </ul>									
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">適切な情報セキュリティ対策</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	適切な情報セキュリティ対策	推進	推進	推進	
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)							
適切な情報セキュリティ対策	推進	推進	推進							
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">情報セキュリティの追加対策の実施</p> </div> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">次期自治体情報セキュリティクラウドへの移行</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">情報セキュリティの追加対策の実施</p> </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">次期自治体情報セキュリティクラウドへの移行</p> </div>
R1 年度	R2 年度	R3 年度								
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">情報セキュリティの追加対策の実施</p> </div>										
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 60%;"> <p style="text-align: center;">次期自治体情報セキュリティクラウドへの移行</p> </div>								

13											
施策名	県内市町における情報システムの標準化・共通化の促進										
担当課	情報政策課 ※1										
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政コストの削減や情報セキュリティの向上といった効果が期待できるとともに、危機を含む多様な事態に柔軟に対応可能なデジタル化を進める観点からも、国・地方公共団体を通じた情報システムの標準化・共通化や、クラウド活用の促進等を進めることが求められている。</li> <li>・国は、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境(「(仮称)Gov-Cloud」)を整備・運用することとしており、地方公共団体の情報システムについても「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けて、具体的な対応方策や課題等についての検討が進められている。</li> <li>・現在、県内市町では3市5町が自治体クラウド又は単独クラウドを導入している。今後、業務システムの標準化・共通化・「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けた検討に伴い、国、地方全体を通じた効率的かつ高品質なネットワーク環境を整備することを目的に、必要な検討、対応を行うことが求められている。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル・ガバメント実行計画において定められた、地方公共団体の情報システムの標準化・共通化の目標時期である2025年度(令和7年度)に向け、県内市町が対応に向けた準備を始められる環境をつくることのできるよう、相談や助言などの必要な支援を行う。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初(H30年度)</th> <th style="text-align: center;">現状(R2年度)</th> <th style="text-align: center;">目標(R3年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治体クラウド導入市町数(単独クラウドを含む。)</td> <td style="text-align: center;">5団体</td> <td style="text-align: center;">8団体</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初(H30年度)	現状(R2年度)	目標(R3年度)	自治体クラウド導入市町数(単独クラウドを含む。)	5団体	8団体	拡大
指標	当初(H30年度)	現状(R2年度)	目標(R3年度)								
自治体クラウド導入市町数(単独クラウドを含む。)	5団体	8団体	拡大								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1年度</th> <th style="text-align: center;">R2年度</th> <th style="text-align: center;">R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; height: 100px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px;">                     市町に対する相談・助言等の支援                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1年度	R2年度	R3年度	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px;">                     市町に対する相談・助言等の支援                 </div>				
R1年度	R2年度	R3年度									
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px;">                     市町に対する相談・助言等の支援                 </div>											

14															
施策名	オンラインを活用した事業等の推進														
担当課	情報政策課 ※2、産業政策課、労働政策課														
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等														
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまで集合形式で実施していた普及・啓発のための会議やセミナー、各種の展示商談会や情報発信イベントなどは、人と人との接触を避けるため、開催ができない場合や「新しい生活様式」に対応した形での実施が求められる場合がある。</li> <li>・ 庁内では、新型コロナウイルスの感染が拡大していた令和2年4月以降、10台程度の専用パソコン等を活用し、オンライン会議を実施してきたが、オンライン会議のニーズの高まりに伴い、オンライン会議サービスのライセンス、インターネット回線など、オンライン会議が実施できるようにするための環境を整備し、令和3年1月から、職員が一人一台パソコンを使用してオンライン会議を実施できるようになった。</li> </ul>														
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合形式で実施していた普及・啓発のための会議やセミナー等を実施する際は、必要に応じて会場での開催のほか、オンラインでの配信、Web動画による情報提供など、事業効果が発揮できる方法で実施する。</li> <li>・ 具体的には、企業の海外展開などに当たりオンライン商談会を取り入れるとともに、就職活動年次前の学生への県内企業の情報発信を行う「Web企業研究フェア開催事業」では、企業説明に加えチャットも活用したライブ配信を行うなど、県が実施するこれら事業において、Webやオンライン配信などのデジタル技術を効果的に活用する。</li> <li>・ 庁内においてオンライン会議を実効性のあるものとするため、オンライン会議の実施手順等を記載したマニュアルを作成し、定期的に職員研修を実施するほか、必要に応じて担当職員がサポートを行うなど、オンライン会議の一層の定着を図る。</li> </ul>														
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン等を活用した県内企業の海外展開と人材確保の支援</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">推進</td> <td style="text-align: center;">推進</td> </tr> <tr> <td>庁内のオンライン会議ライセンスの利用回数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">648 回 (1 月まで)</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	オンライン等を活用した県内企業の海外展開と人材確保の支援	—	推進	推進	庁内のオンライン会議ライセンスの利用回数	—	648 回 (1 月まで)	拡大
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)												
オンライン等を活用した県内企業の海外展開と人材確保の支援	—	推進	推進												
庁内のオンライン会議ライセンスの利用回数	—	648 回 (1 月まで)	拡大												
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン等を活用した                      県内企業の海外展開と人材確保の支援                 </div> </td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン会議の定着                 </div> </td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン等を活用した                      県内企業の海外展開と人材確保の支援                 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン会議の定着                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度													
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン等を活用した                      県内企業の海外展開と人材確保の支援                 </div>														
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     オンライン会議の定着                 </div>														

15												
施策名	テレワークの推進											
担当課	人事・行革課、情報政策課 ※2											
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等											
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T を活用し、場所や時間を有効に活用できる柔軟で多様な働き方への取組の一つとして、平成 30 年 9 月からテレワークの試行を開始したところであり、育児・介護を行う職員を対象とした在宅勤務や、外出先でのモバイルワークを実施している。</li> <li>・ 職員が出張等の際に業務を行えるよう、本庁舎及び東京事務所内にサテライトオフィスを設置している。また、新型コロナウイルス感染症対策として、当分の間は、在宅勤務については、全職員を対象とするとともに、小豆総合事務所など県内 5 出先機関に、臨時のサテライトオフィスを設置している。</li> <li>・ 令和 2 年 11 月には、一人一台パソコン 3,423 台を、専用の無線回線で庁内ネットワークに接続可能なモバイル型に変更して、テレワークに利用できるようにした。</li> </ul>											
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一台パソコンのテレワークへの活用を推進する。</li> <li>・ テレワークの試行結果を検証して、引き続き柔軟で多様な働き方を推進する。</li> </ul>											
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H29 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">テレワーク端末数</td> <td style="text-align: center;">0 台</td> <td style="text-align: center;">3,423 台</td> <td style="text-align: center;">3,423 台</td> </tr> </tbody> </table>				指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	テレワーク端末数	0 台	3,423 台	3,423 台
指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)									
テレワーク端末数	0 台	3,423 台	3,423 台									
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border-left: 10px solid transparent; border-right: 10px solid transparent; border-bottom: 10px solid black;"></div> </div> <p style="margin: 0;">テレワークの推進</p> </td> </tr> </tbody> </table>				R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border-left: 10px solid transparent; border-right: 10px solid transparent; border-bottom: 10px solid black;"></div> </div> <p style="margin: 0;">テレワークの推進</p>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度										
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; right: -10px; top: 50%; transform: translateY(-50%); border-left: 10px solid transparent; border-right: 10px solid transparent; border-bottom: 10px solid black;"></div> </div> <p style="margin: 0;">テレワークの推進</p>												

16											
施策名	井戸情報管理システムの整備による情報共有の推進										
担当課	水資源対策課										
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機的な渇水や、近い将来発生が想定されている南海トラフを震源とする大規模地震時における生活用水（雑用水等）として地下水を活用するため、県下の井戸情報を整理し、井戸所有者への聞き取り調査等を実施した上でデータベース化（電子地図活用）を行い、平成 28 年度末に整備データを各市町に提供して、情報の共有化を図っている。</li> <li>・最新データを反映させるための継続的かつ効率的な情報収集と更新作業の確実な実施が課題である。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、民間井戸について、条例に基づく届出情報（新設、変更、廃止）を集約、整理するとともに、市町井戸等について、市町等に照会を行う。</li> <li>・併せて、5年に一度（水道地図の更新と同頻度）を目途に、全ての井戸について再アンケートを行うとともに、災害時に活用可能と回答があった井戸の現地調査を行い、最新データの把握に努める。</li> <li>・本システムの運用は令和3年12月31日をもって終了し、エクセルデータと国土地理院が無償提供する「地理院マップシート」を用いて井戸情報を管理する新たな体制へと移行する。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">当初 (H30 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">現状 (R2 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データの更新、共有</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	データの更新、共有	推進	推進	推進
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
データの更新、共有	推進	推進	推進								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">R1 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R2 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="height: 100px; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     民間井戸の届出情報・市町井戸等の照会結果反映                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%; position: absolute; bottom: 10px; right: 10px;">                     全ての井戸について 再アンケート・現地調査                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     民間井戸の届出情報・市町井戸等の照会結果反映                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%; position: absolute; bottom: 10px; right: 10px;">                     全ての井戸について 再アンケート・現地調査                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     民間井戸の届出情報・市町井戸等の照会結果反映                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%; position: absolute; bottom: 10px; right: 10px;">                     全ての井戸について 再アンケート・現地調査                 </div>											



17									
施策名	林地台帳等の利活用を促進するための市町支援								
担当課	みどり整備課								
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等								
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の森林は、小規模・零細であり、所有者の世代交代や不在村化等から、今後、所有者の特定が困難な森林の増加が懸念され、効率的な森林整備を行うためには、所有者情報等を明確化し、その情報を担い手に提供して森林施業の集約化を図る必要がある。</li> <li>・平成 28 年 5 月の森林法の一部改正で、市町村が統一的な基準に基づき、森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報などを整備・公表する林地台帳制度が創設され、平成 31 年 4 月から運用が開始されることとなった。</li> <li>・林地台帳の整備は各市町が平成 30 年度中に行ったが、制度運用開始後は、森林資源・登記簿の所有者情報等を保有する県と連携し、情報の収集や修正・更新を適切に行うことにより、精度の向上を図ることが重要である。</li> </ul>								
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町が統一的な基準により森林所有者や林地境界等の情報を整備・公表する「林地台帳」のデータを活用して、森林組合等が効率的な森林整備を行うことができるよう、市町に対してデータの更新等を支援する。</li> </ul>								
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H29 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">林地台帳公表市町数</td> <td style="text-align: center;">0 団体</td> <td style="text-align: center;">17 団体</td> <td style="text-align: center;">17 団体</td> </tr> </tbody> </table>	指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	林地台帳公表市町数	0 団体	17 団体	17 団体
指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)						
林地台帳公表市町数	0 団体	17 団体	17 団体						
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                     林地台帳データの更新・公表等支援                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>	R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                     林地台帳データの更新・公表等支援                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度							
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                     林地台帳データの更新・公表等支援                 </div>									

18																
施策名	航空レーザ計測による森林調査の推進															
担当課	みどり整備課															
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等															
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の私有林面積約7万9千ヘクタールのうち、ヒノキ・スギの人工林面積は約1万3千ヘクタールと全国で46番目の規模であり、また、これら人工林の所有者は約1万1千人で、そのうちの約8割に当たる約8千人が所有面積1ヘクタール未満となっているなど、小規模零細な所有構造となっている。このような状況において、県内の森林整備を推進するためには、森林の資源量等を的確に把握して、面的なまとまりのある森林を確保し、施業の集約化を図るとともに、災害の発生リスクを的確に把握する必要があるが、県や市町・森林組合等が行う森林の現況把握のための現地調査について、多大な労力と時間を要している。</li> <li>・台風の大型化、線状降水帯の形成等豪雨形態が変化する中、広域に強雨が長時間降り注いだ地域では現に山地災害が発生していなくとも山腹斜面の不安定化により、山地災害の発生リスクの増加が懸念される。</li> </ul>															
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空レーザ計測技術を活用して、ヒノキ・スギ等の樹種や材積等の資源状況、森林管理道や森林作業道などの路網の配置状況など、精度の高い情報を解析・把握し、本県に適した効率的な森林施業の方法を検討し、市町や森林組合等の森林施業の集約化の取り組みを支援する（令和3年度は調査のみ）。</li> <li>・航空レーザによる基礎データがなく、山地災害危険地区が多数ある小豆地区等島嶼部において、航空レーザ計測を実施するとともに、崩壊地、溪流荒廃地又は崩壊のおそれのある箇所を解析し、治山事業の実施計画を策定する。</li> </ul>															
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空レーザ計測による森林資源調査</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">0 か所</td> <td style="text-align: center;">1 か所</td> </tr> <tr> <td>治山事業の実施計画の策定</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">0 か所</td> <td style="text-align: center;">1 か所</td> </tr> </tbody> </table>				指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	航空レーザ計測による森林資源調査	—	0 か所	1 か所	治山事業の実施計画の策定	—	0 か所	1 か所
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)													
航空レーザ計測による森林資源調査	—	0 か所	1 か所													
治山事業の実施計画の策定	—	0 か所	1 か所													
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     航空レーザ測量を活用した森林資源の調査                 </div>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     治山事業の実施計画の策定                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>				R1 年度	R2 年度	R3 年度			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     航空レーザ測量を活用した森林資源の調査                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     治山事業の実施計画の策定                 </div>						
R1 年度	R2 年度	R3 年度														
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     航空レーザ測量を活用した森林資源の調査                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     治山事業の実施計画の策定                 </div>														

19											
施策名	放課後児童クラブ等における I C T 化推進を行う市町への支援										
担当課	子ども家庭課										
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等										
現状と課題	<p>・本県では、市町が実施主体となり「放課後児童健全育成事業」等を実施し、事業を実施する施設を開設しているところであるが、各施設については、I C T 機器の導入が進んでいない状態となっている。</p> <p>・令和3年度より、内閣府による「子ども・子育て支援交付金」の交付要綱改正により「放課後児童クラブ等における I C T 化推進事業（補助率：国 1/3, 県 1/3, 市町 1/3）」が実施されることとなった。</p> <p>【対象事業】・放課後児童健全育成事業・利用者支援事業・乳児家庭全戸訪問事業 ・養育支援訪問事業・地域子育て支援拠点事業</p> <p>【補助基準額】 1 か所等当たり 500,000 円</p>										
取組の方向性	<p>「子ども・子育て支援交付金」交付要綱に基づき、</p> <p>① 利用児童の入退出の管理や、オンライン会議やオンラインを活用した相談支援に必要な I C T 機器の導入等の環境整備の実施。</p> <p>② 県が実施する研修をオンラインで受講できるよう、必要なシステム基盤の導入をおこなった市町に対し事業費の補助を行う。</p>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業を行う市町</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">5 団体</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	事業を行う市町	—	—	5 団体
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
事業を行う市町	—	—	5 団体								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 化を推進する 市町への補助                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 化を推進する 市町への補助                 </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     I C T 化を推進する 市町への補助                 </div>									

20												
施策名	児童相談所体制強化インフラ整備事業の推進											
担当課	子ども家庭課											
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等											
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童相談所は、養護相談（虐待を含む）、非行相談、育成相談など多岐にわたる相談内容に対応しており、近年の相談件数は増加傾向にあるほか、一時保護など介入的な関わりを要する児童虐待事案が増加している。このため、平成 30 年 1 月に、児童・保護者への支援状況や会議記録等を一元的に管理する「児童相談所システム」を導入し、県内 2 か所の児童相談所間における情報共有の迅速化と業務の効率化を図ってきた。</li> <li>・このような中、近年発生した重篤な児童虐待事案において、県外に転居した際の自治体間の引継ぎに課題があったことなどを踏まえ、国において、全国統一の「要保護児童等に関する情報共有システム」の整備が進められ、令和 3 年度に運用開始となることから、本県においても「要保護児童等に関する情報共有システム」を活用する必要がある。</li> </ul>											
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の既存システムを改修し、「要保護児童等に関する情報共有システム」との連携を行うことで、児童相談所が関わっている家庭が県外へ転居した際などに転居先の自治体と迅速かつ的確な情報共有を行い、児童虐待事案等への対応強化を図る。</li> </ul>											
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">指標</th> <th style="width: 12.5%;">当初 (H30 年度)</th> <th style="width: 12.5%;">現状 (R2 年度)</th> <th style="width: 12.5%;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要保護児童等に関する情報共有システムとの連携による機能拡充</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td style="text-align: center;">拡充</td> </tr> </tbody> </table>				指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	要保護児童等に関する情報共有システムとの連携による機能拡充	—	検討	拡充
	指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
要保護児童等に関する情報共有システムとの連携による機能拡充	—	検討	拡充									
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">R1 年度</th> <th style="width: 33%;">R2 年度</th> <th style="width: 33%;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムとの連携に係る検討                 </div> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムと県システムの連携を通じた機能拡充                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>				R1 年度	R2 年度	R3 年度		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムとの連携に係る検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムと県システムの連携を通じた機能拡充                 </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムとの連携に係る検討                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全国統一の情報共有システムと県システムの連携を通じた機能拡充                 </div>										

21											
施策名	公共事業の事業プロセス間で発生する各種情報の電子化と電子納品の推進										
担当課	技術企画課										
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等										
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子県庁推進事業の一環として、平成 17 年度から「電子納品・情報共有システム」の導入を開始しており、公共事業における書類や図面を電子化し、施工及び維持管理プロセスにおける情報交換・情報共有を行うための電子納品・情報共有システムを利用することにより、事務の効率化・コスト縮減・公共事業の品質の向上を図ることを目的とし、システムの運用に係る関連ソフトの保守を行っている。</li> <li>・県職員への普及は一定程度進んでおり、民間企業へのシステム利用普及促進が課題である。</li> </ul>										
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業の発注・監督・維持管理事務の効率化、移動コストの縮減、省資源・省スペース化、公共事業の品質向上を図る。</li> </ul>										
K P I	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">指標</th> <th style="text-align: center;">当初 (H30 年度)</th> <th style="text-align: center;">現状 (R2 年度)</th> <th style="text-align: center;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">電子納品の推進</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">実施継続</td> <td style="text-align: center;">実施継続</td> </tr> </tbody> </table>			指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	電子納品の推進	—	実施継続	実施継続
指標	当初 (H30 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)								
電子納品の推進	—	実施継続	実施継続								
工程表	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th style="text-align: center;">R1 年度</th> <th style="text-align: center;">R2 年度</th> <th style="text-align: center;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px; text-align: center;">                     電子納品の継続                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>			R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px; text-align: center;">                     電子納品の継続                 </div>				
R1 年度	R2 年度	R3 年度									
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 10px; text-align: center;">                     電子納品の継続                 </div>											

22													
施策名	県立学校における校務支援システムによる業務効率化の推進												
担当課	高校教育課、特別支援教育課												
該当する基本方針	(4) 業務・システム改革等												
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度にモデル校として県立高校 4 校に校務支援システムを導入して以降、順次校務支援システムの導入を進め、平成 29 年 3 月にすべての県立中・高校に導入した。平成 30 年度には特別支援学校への導入を行い、全県立学校への導入が完了した。</li> <li>校務支援システムの導入により事務処理を効率化し、校務事務を軽減するとともに、統一されたシステムを導入することにより、教員が異動してもスムーズに対応できる。また、データを堅牢なデータセンタで一元的に管理するため、高いセキュリティを維持することができる。</li> <li>システムに入力しているデータから作成している調査書について、「令和 3 年度大学入学者選抜実施要項」により調査書の取り扱いが大きく変更されたため、令和 2 年度に対応した。</li> </ul>												
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年度からの新学習指導要領の実施に伴う改修・マニュアル等の変更など制度改正への対応を行う。</li> <li>システムに慣れない教員へのサポート及びマニュアル等の作成、学校内で新たにシステムの担当となった教員へ研修を行う等、円滑な運用を図る。</li> </ul>												
K P I	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">指標</th> <th style="background-color: #d9ead3;">当初 (H29 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">現状 (R2 年度)</th> <th style="background-color: #d9ead3;">目標 (R3 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査書の様式変更対応</td> <td>未対応</td> <td>対応済</td> <td>対応済</td> </tr> </tbody> </table>				指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)	調査書の様式変更対応	未対応	対応済	対応済	
指標	当初 (H29 年度)	現状 (R2 年度)	目標 (R3 年度)										
調査書の様式変更対応	未対応	対応済	対応済										
工程表	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9ead3;">R1 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R2 年度</th> <th style="background-color: #d9ead3;">R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">システム運用の継続</div> </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60%; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">調査書・指導要録の様式変更</div> </div> </td> </tr> </tbody> </table>				R1 年度	R2 年度	R3 年度	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">システム運用の継続</div> </div>			<div style="border: 1px solid black; width: 60%; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">調査書・指導要録の様式変更</div> </div>		
R1 年度	R2 年度	R3 年度											
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">システム運用の継続</div> </div>													
<div style="border: 1px solid black; width: 60%; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: -10px; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%);">調査書・指導要録の様式変更</div> </div>													